

久留米市城島地域における コミュニティタクシー事業の取組状況について

目 次

1. 城島地域での事業概要	P 1
2. コミタク事業の利用状況	P 1
3. 利用者の利用頻度	P 2
4. 利用先（利用目的地）の状況	P 4
5. 利用料金の状況	P 5
6. アンケート結果	P 6
7. コミタク事業のまとめ	P 12

1. 城島地域での事業概要

久留米市地域交通対策事業補助金（以下、「コミタク事業」という。）は、公共交通空白地域における移動制約者（原則65歳以上）の日常生活（公共交通機関への乗継、買物、通院等）の移動支援を、タクシー事業者と協力して実施する校区組織に対して交付するものであり、タクシー1回の利用に対して300円（上限50万円）の補助を行っている。

城島地域では、平成24年6月より全校区で取組を始めており、各校区の事業開始時期は以下のとおりである。

（城島地域校区のコミタク事業の開始時期）

平成21年度：浮島校区（8月）、下田校区（9月）

平成22年度：江上校区（1月）

平成24年度：青木校区（4月）、城島校区（6月）

2. コミタク事業の利用状況

城島地域での年度毎のコミタク事業の実施状況を表-1に示す。なお、実施状況は平成23年度までの結果を整理している。

表-1 城島地域校区のコミタク事業の実施状況

年 度	取組校区	登録者数 (A)	実利用者数 (B)	登録者に対する 利用率 (B)/(A)	年間延べ 利用回数 (C)	利用者の 年間平均 利用回数 (C)/(B)
平成21年度	浮島・下田	115人	45人	39.1%	527回	11.7回 [※]
平成22年度	浮島・下田・江上	188人	83人	44.1%	1095回	13.2回 [※]
平成23年度	浮島・下田・江上	175人	117人	63.2%	2414回	20.6回

※年度途中からの集計

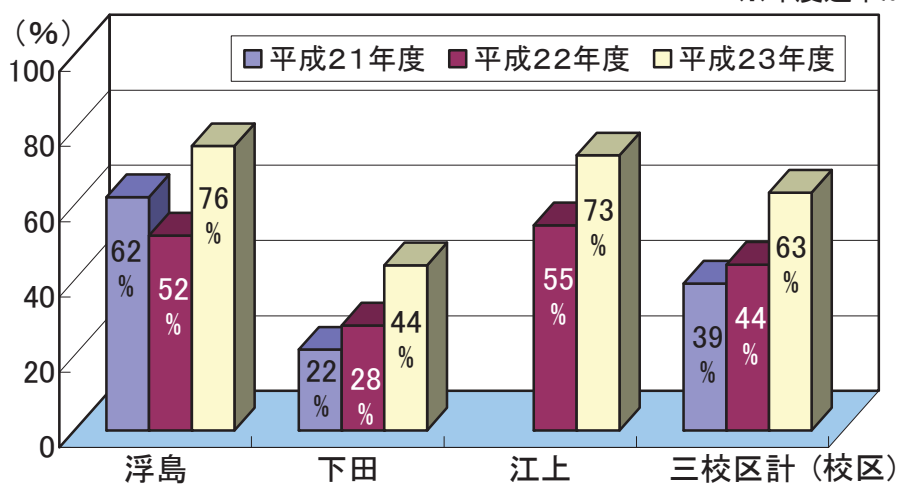


図-1 各校区の利用率の変化

図-1は、表-1より抽出した各校区の利用率の変化を示している。図に示すように、各校区とも利用率は概ね年々増加傾向にある。

3. 利用者の利用頻度（平成23年度のみ集計）

1) 平均利用回数と最高利用回数

図-2は、各校区の利用回数を比較したものである。

なお、利用回数は以下のものを示している。

- ・年間平均利用回数：年間延べ利用回数を実利用者数で割ったもの
- ・年間最高利用回数：最も利用回数の多かった利用者の利用回数

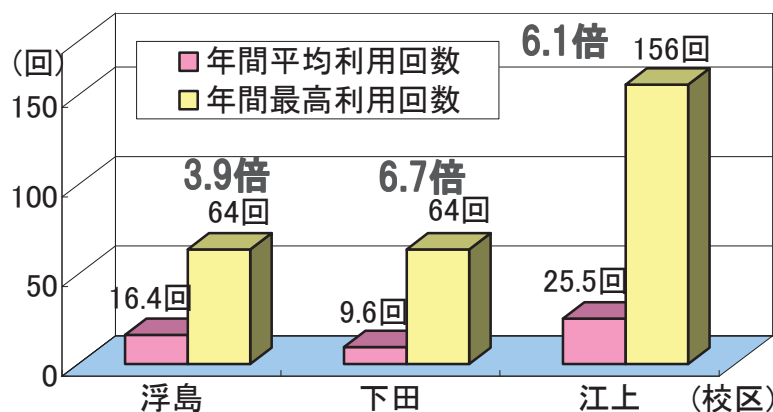


図-2 校区内での年間平均利用回数と年間最高利用回数

図に示すように、実利用者の年間平均利用回数は10回～25回であるが、年間最高利用回数は64回～156回と大きな開きがあり、最も利用の多かった利用者は平均的な利用者比べて4倍～7倍利用回数が多いことが明らかとなった。

2) 利用回数別の利用者数

図-3は、各校区の利用回数別の利用者数を整理したものである。

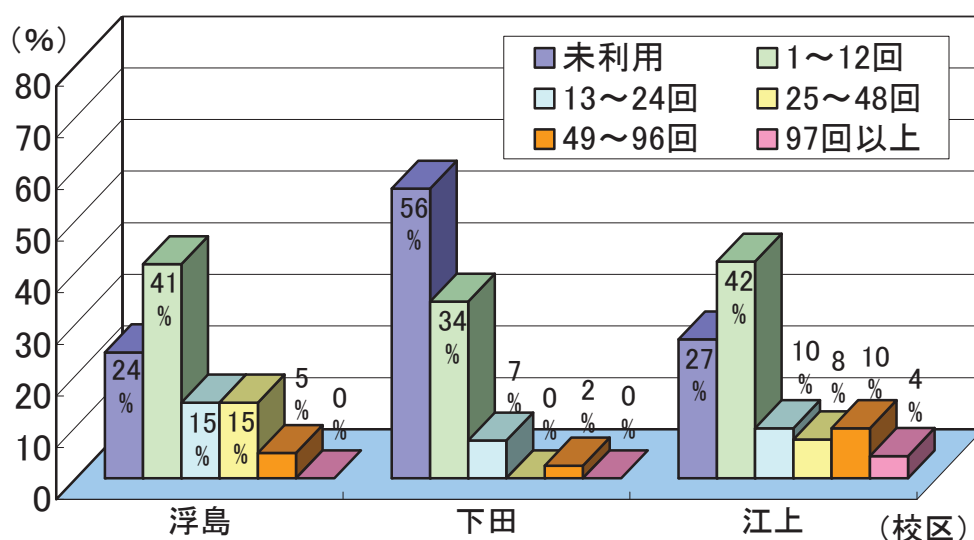


図-3 利用回数別の利用者数

図中の利用回数の区分は、下記に示すように月毎の利用回数を考慮して設定している。

- ・ 1～12回 月1回程度の利用
- ・ 13～24回 月2回程度の利用
- ・ 25～48回 月4回（週1回）程度の利用
- ・ 49～96回 月8回（週2回）程度の利用
- ・ 97回以上 週2回以上の利用

図に示すように、利用者の中では「1～12回」が最も多く、月に1回程度の利用が主体となっている。ただし、江上校区では「97回以上」の利用者も確認され、一部の利用者が高頻度で利用している実態が明らかとなった。

3) 利用回数別にみた利用者割合と利用回数割合

図-4は、城島地域3校区を合わせた利用回数別の利用者割合と利用回数割合を円グラフで示したものである。

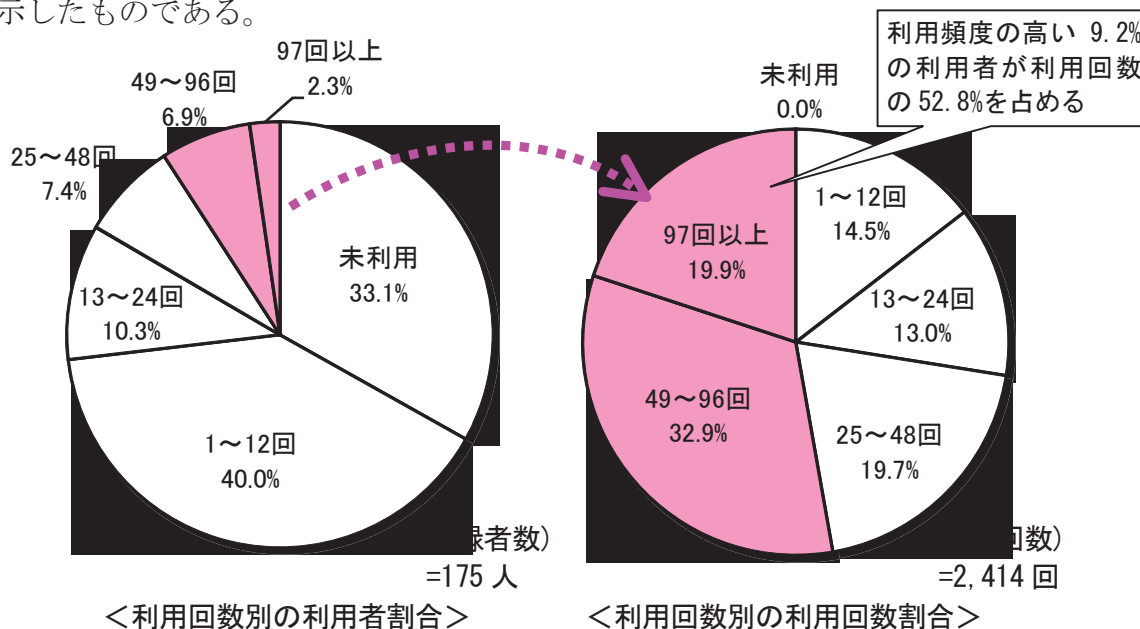


図-4 利用回数別の利用者割合と利用回数割合

利用回数別の利用者割合(左図)より、年間49回以上の利用者が登録者の約1割(9.2%)を占めていることが分かる。一方、利用回数別の利用回数割合(右図)からは、年間49回以上の利用者が年間の全利用回数の約5割(52.8%)を使用していたことが判明しており、一部の高頻度利用者が全体の利用総数の多くを占めている(一部の利用者が多くの助成を得ている)実態が明らかとなった。

4. 利用先（利用目的地）の状況（平成23年度のみ集計）

1) 利用目的地

図-5は、コミュニティタクシーを利用した利用者の目的地を目的地別に示したものである。

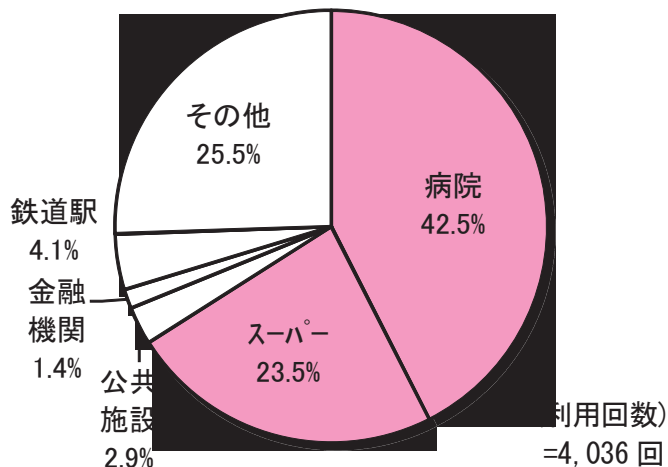


図-5 目的地別の利用割合

図に示すように、病院の利用が最も多く、次いで店舗への利用が多い結果となっており、併せると利用の7割程度を占めている。

2) 城島地域外への利用

城島地域のコミタク事業では、城島地域内及び各校区が接する城島地域外の隣接校区までの利用が可能となっている。平成23年度の利用実績では、浮島校区、下田校区、江上校区のうち江上校区のみで城島地域外への利用が確認されている。これは、江上校区が城島地域の南東端に位置し、大木町や久留米市三潴町といった城島町以外の地域に近く、昔から日常的な交流があるためと考えられる。

図-6は、江上校区での城島地域外の利用割合を示したものである。

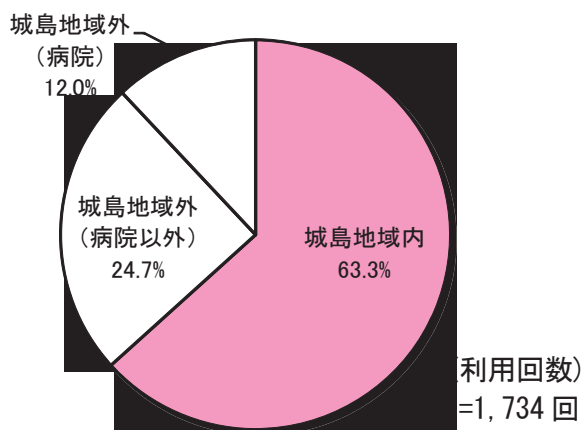


図-6 江上校区の利用先（地域内利用と地域外利用の状況）

図に示すように江上校区の城島地域外への利用は、全利用の3割強を占めており、1割強が地域外（病院）、2割強が地域外（病院以外）の利用となっている。

5. 利用料金の状況（平成23年度のみ集計）

1) 利用料金別割合

図-7は、コミタク事業で利用したタクシー利用料金（メーター料金）の金額別の割合を示したものである。

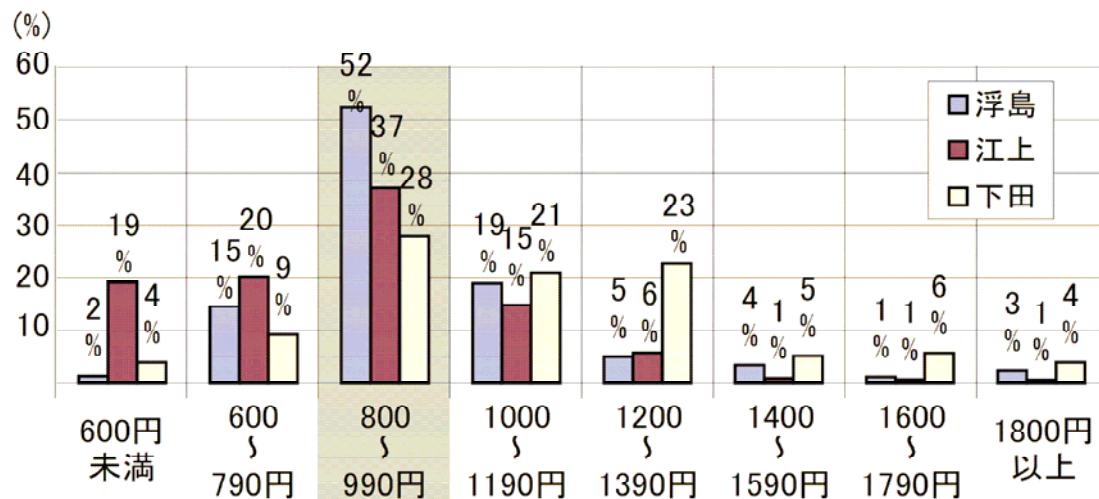


図-7 タクシー利用料金の金額別割合（メーター料金）

図に示すように、全体から見て利用料金は800円から990円台が最も多い。また、校区別の特徴としては、江上校区は利用料金の安い割合が多いが、下田校区、浮島校区は利用料金が高い割合が江上校区に比べて多く、特に下田校区でその傾向が強い。これは、下田校区、浮島校区が、筑後川を挟んだ北側に立地する校区であり、主要な病院や店舗までの距離が江上校区と比べて遠いことによるものと考えられる。

2) 平均支払額

表-2は、コミュニティタクシーの校区別の利用回数と利用総額である。

表-2 平成23年度のコミュニティタクシー利用回数と利用総額

校区	利用金額	
	利用回数	総額(円)
浮島校区	508	500,380
下田校区	172	195,360
江上校区	1,734	1,486,670
計	2,414	2,182,410

上表より、コミュニティタクシー利用者のタクシー料金の平均支払額は次のような結果となった。

$$2,182,410 \text{円} \div 2,414 \text{回} = 904.06 \text{円} \approx \boxed{900 \text{円}}$$

コミタク事業での利用1回あたりの助成は300円であることから、コミュニティタクシー利用者は平均して1回の利用で600円を支払っていることとなる。

6. アンケート結果

コミュニティタクシーの登録者を対象に平成24年3月にアンケートを実施した。アンケートの集計結果を表-3に示し、以下にアンケート結果の概要を整理する。

1) 対象者

アンケートの対象者は、平成24年3月1日現在のコミュニティタクシー登録者であり、城島地域では浮島校区、下田校区、江上校区の3校区の方が対象となる。アンケート用紙の配布、回収は校区コミュニティに依頼する。

(アンケート配布数と回収率：城島地域)

対象者	175名
配布数	164名
回収数	145名 (回収率88%)

2) 性別、年齢

図-8は、アンケート回答者の性別と年齢を円グラフで示している。図に示すように、女性の利用が大部分を占めるとともに、利用者は75歳以上が主体となっている（コミュニティタクシーの登録は65歳以上を原則としている）。

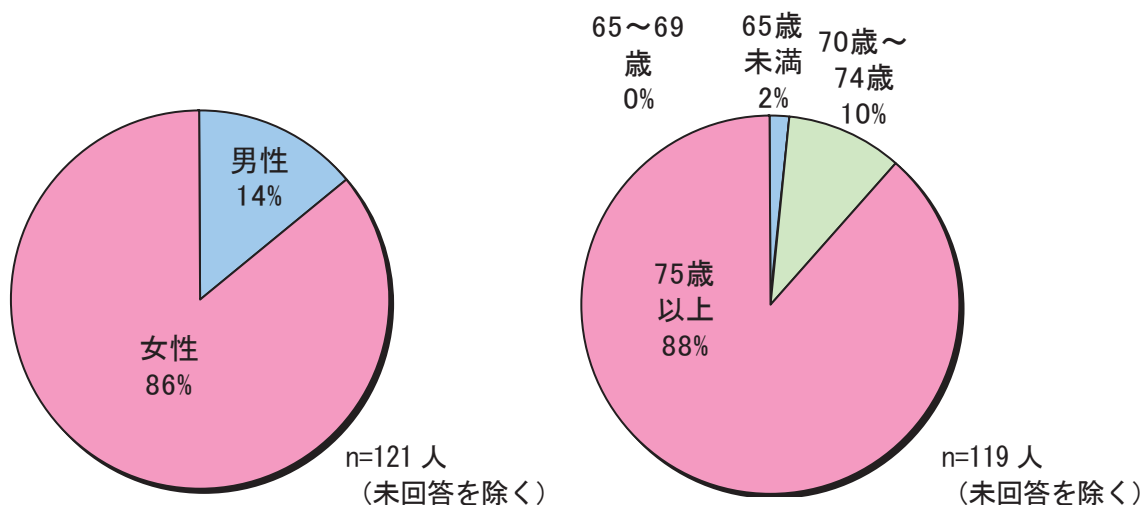


図-8 コミュニティタクシーの利用者層

なお、アンケートでは職業や運転免許の有無についても調査を行っており、職業は主婦（主夫）、無職、免許は持っていない（返納したも含む）という回答が最も多かった。

3) 世帯の車の所有状況

登録者世帯の車の所有状況を図-9に示す。図に示すように、登録者のうち車を自由に使える方は回答者の4%に留まっており、公共交通空白地域が広い城島地域においては、家族や近所の方に車に乗せてもらう、もしくは自転車等を利用した移動が主体となっていると考えられる。

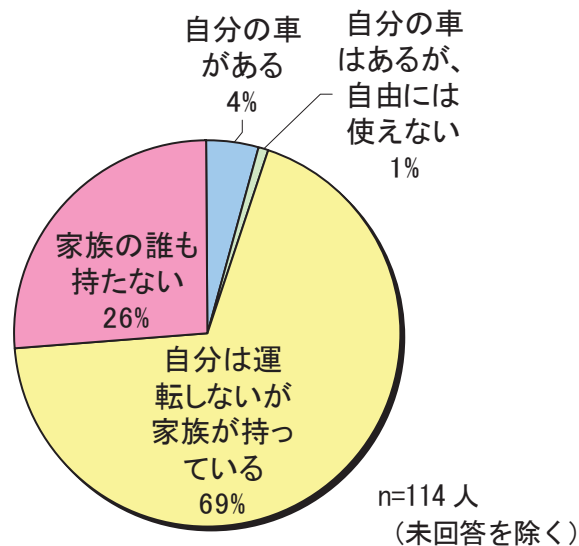


図-9 世帯の車の保有状況

4) 外出回数の変化

コミュニティタクシー事業を始めてからの外出回数の変化を図-10 に示した。図に示すように、約1/3の方が事業の利用により外出回数が増えたと回答しており、事業が登録者の移動促進に一部貢献していることが明らかとなった。

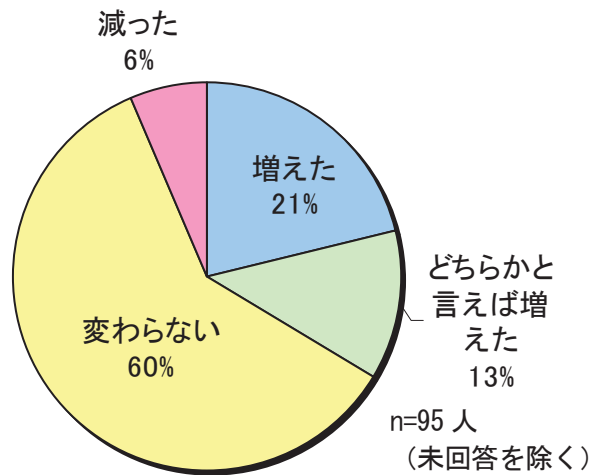


図-10 外出回数の変化

5) コミュニティタクシー事業の助成金について

コミュニティタクシー事業では、1回のタクシー利用で300円を助成しているが、この助成額が妥当であるかアンケートを行っている。図-11 (図の左側のグラフ) はその結果であるが、回答者の3/4は納得できる、どちらかと言えば納得できるという回答であった。ただし、登録はしているもののコミュニティタクシーを利用していない方の回答 (図の右側のグラフ) では、負担金額が大きいため利用しないとの回答が1/3を占めており、利用者負担の多さが利用を阻害している一面が伺える結果となっている。

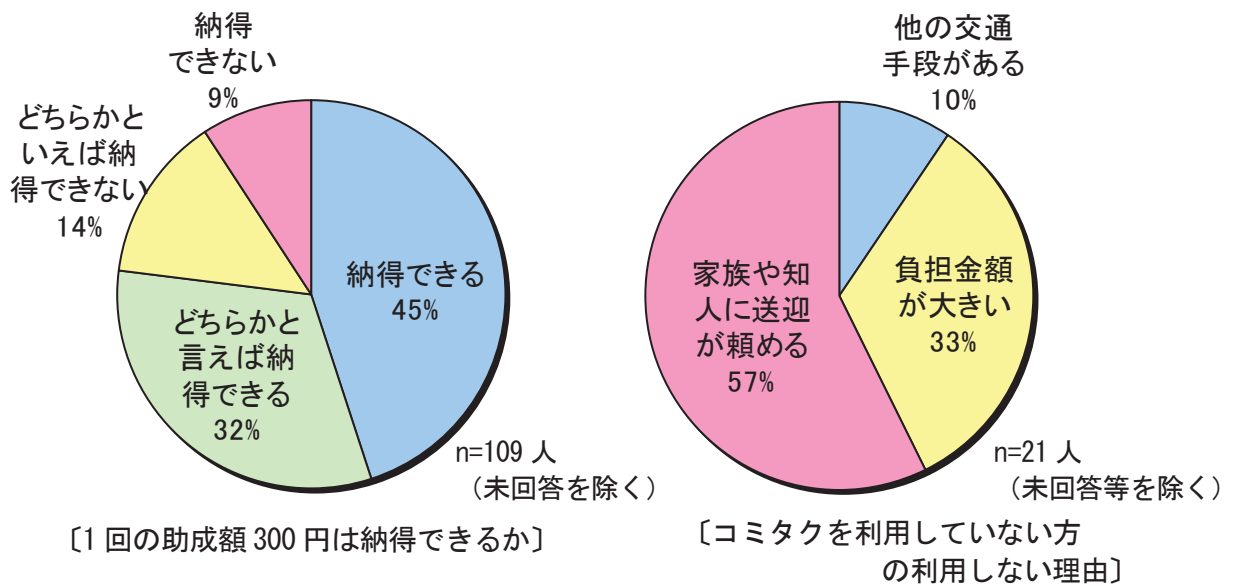


図-11 事業の助成金に対する納得度及びコミタクを利用しない理由

6) 事業の継続

図-12 は事業の継続を望むか質問したものであるが、事業の継続を望む意見が大半を占めており、利用者は事業を評価していることが明らかとなった。

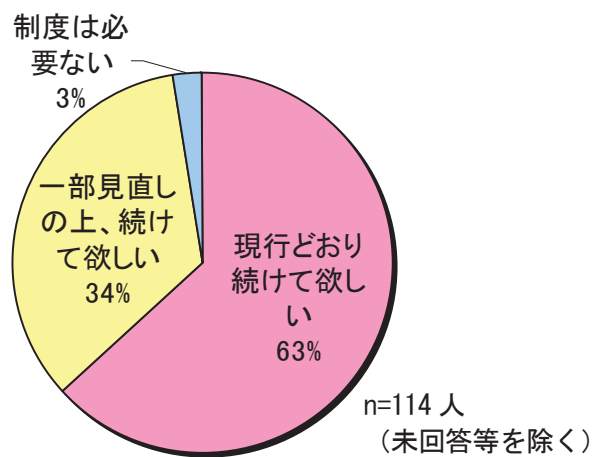


図-12 事業の今後について

なお、一部見直しの上、続けて欲しいという意見が1/3程あるが、この一部見直しの内容についてはアンケートの自由意見より、利用エリアの拡大に関することや利用者負担額の軽減等であると推測される。

表-3 コミュニティタクシー利用者アンケート結果(1/3)

○アンケート調査概要	
平成24年3月1日現在の登録者が対象(入院・入所者等除く)	
江上	配布:87名, 回収:53名, 回収率:61%
下田	配布:38名, 回収:34名, 回収率:90%
浮島	配布:39名, 回収:38名, 回収率:97%

問1 あなた自身		江上	下田	浮島
①性別	1. 男性	8	4	5
	2. 女性	44	28	32
	未回答	1	2	1
②年齢	1. 65歳未満	2	0	0
	2. 65～69歳	0	0	0
	3. 70歳～74歳	2	8	2
	4. 75歳以上	48	23	34
	未回答	1	3	2
③職業	1. 会社員・公務員	0	0	0
	2. 自営業(農林漁業含む)	4	1	2
	3. パート・アルバイト	0	0	0
	4. 主婦・主夫	11	5	4
	5. 無職	27	21	25
	6. その他	0	1	1
④免許	1. 持っている	3	4	2
	2. 持っていない	37	26	33
	3. 返納した	6	2	2
	未回答	7	2	1

問2 現在の家族数		江上	下田	浮島
家族構成	1人家族	10	5	5
	2人家族	16	9	8
	3人家族	5	8	9
	4人家族	10	4	4
	5人家族	3	2	3
	6人家族	1	3	5
	7人家族	1	1	0
	8人家族	2	0	0
	9人家族	0	0	0
	10人家族	0	0	0
	未回答	5	2	4

問3 世帯の車の保有状況		江上	下田	浮島
1. 自分の車がある		2	1	2
2. 自分の車はあるが、いつでも自由には使えない		0	1	0
3. 自分は運転しないが家族が持っている		29	23	26
4. 家族の誰も持っていない		15	7	8
未回答		7	2	2

問4 コミタクを利用したことがあるか		江上	下田	浮島
1. ある		45	16	36
2. ない		8	16	2
未回答		0	2	0

問5 コミタクの依頼方法 ※複数回答		江上	下田	浮島
1. 自宅の固定電話		38	14	33
2. 携帯電話		6	4	3
3. 公衆電話		4	0	3
4. 他人に依頼		0	0	0
5. その他		4	0	0
未回答		9	19	3

表-3 コミュニティタクシー利用者アンケート結果(2/3)

問6 コミタクが始まる前と比べた外出回数		江上	下田	浮島
1. 増えた		10	3	7
2. どちらかと言えば増えた		0	12	0
3. 変わらない		30	1	27
4. 減った		4	0	2
未回答		9	18	2

問7 コミタクの主な利用頻度		江上	下田	浮島
1. 月に数回		28	5	12
2. 月に1回		6	3	8
3. 2～3ヶ月に1回		6	2	7
4. 6ヶ月に1回		0	2	2
未回答		13	22	9

問8 主な利用目的(1番目と2番目)		江上	下田	浮島
1番目	1. 病院	30	7	28
	2. 買物	6	0	5
	3. 交通機関へ乗継	1	1	1
	4. 金融機関	0	1	1
	5. 総合支所	0	2	0
	6. その他	0	1	0
	未回答	16	22	3
2番目	1. 病院	2	0	4
	2. 買物	7	3	11
	3. 交通機関へ乗継	0	1	0
	4. 金融機関	6	0	0
	5. 総合支所	1	1	1
	6. その他	2	1	1
	未回答	35	28	21

問9 コミタク利用時の1回あたり平均的な支払額		江上	下田	浮島
1. 500円未満		5	1	5
2. 500円～1,000円未満		27	7	17
3. 1,000円以上		10	5	14
未回答		11	21	2

問10 コミタクを相乗りで利用したことがあるか		江上	下田	浮島
1. したことがある		14	8	15
2. したことがない		29	5	20
未回答		10	21	3

問11 コミタクの補助金額(1回300円)		江上	下田	浮島
1. 納得できる		28	7	14
2. どちらかと言えば納得できる		13	7	12
3. どちらかといえば納得できない		3	7	5
4. 納得できない		3	4	3
未回答		6	9	4

問12 コミタクを利用したことがない人にお伺いします。 利用しない理由 ※複数回答		江上	下田	浮島
1. 他の交通手段がある		0	2	0
2. 負担金額が大きい		4	2	1
3. 家族や知人に送迎が頼める		0	11	1
4. その他		3	1	0
未回答		1	18	36

表-3 コミュニティタクシー利用者アンケート結果(3/3)

問13 コミタクの今後について	江上	下田	浮島
1. 現行どおり続けて欲しい	38	10	24
2. 一部見直しの上、続けて欲しい	12	16	11
3. 制度は必要ない	0	3	0
4. その他	0	1	1
空白	3	4	2

自由意見(江上)

<p>1 制度継続 (10件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も続けてほしい。 ・これからも利用したい。 ・コミタクには感謝している。 <p>2 エリア拡大 (7件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大川市内も利用対象にしてほしい。 ・大木町のエリア拡大をお願いしたい。 ・もっと利用範囲を広げて欲しい。 ・病院等、城島町外へも配慮を。 <p>3 補助額見直し (1件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金額を増やしてほしい。 <p>4 その他 (2件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミタク券は不足。現状では請求しにくい。 ・足が悪く、コミタク券をもう少しほしい。
--

自由意見(下田)

<p>1 制度継続 (2件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このまま継続してほしい。 ・大変助かっている。 <p>2 エリア拡大 (13件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大善寺駅まで使いたい ・医大まで使いたい ・市内全域をエリアにしてほしい。 <p>3 補助額見直し (5件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金額を増やしてほしい。 <p>4 その他 (1件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タクシー会社が1社に限られていること。

自由意見(浮島)

<p>1 制度継続 (2件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このまま継続してほしい。 ・大変助かっている。 <p>2 エリア拡大 (3件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大木町や大川市等、近隣でも使いたい。 ・佐賀県の病院への通院にも使いたい。 ・旧市内の病院への通院にも使いたい。 <p>3 補助額見直し (4件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金額を増やしてほしい。 ・100円バスの方がよかった。
--

7. コミタク事業のまとめ

城島地域でのコミタク事業の利用状況を以下にまとめる。

1) 利用は年々増加傾向

利用率が年々増加していること、平成24年度では青木校区、城島校区も加わり城島地域全校区で事業が開始されていることから、コミタク事業は城島地域在住者の移動手段として広く認識されてきていると考えられる。

2) 一部の利用者において高頻度の利用がある

現在の制度では、利用者の利用制限を設けていないため、一部の利用者が繰り返し利用し、多くの助成を受けている実態が明らかとなった。また、各校区の助成限度は50万円であり、平成23年度の実績では江上校区が3月20日で助成上限に達しており、利用したい時に利用できないという状況も発生している。このことから、一部の利用者の高頻度利用を抑制し公平性のある制度となるように制度について再検討する必要がある。

3) 定額助成であるため、目的地が遠距離になる場合は利用者の負担が加算される

距離に関係なくタクシー1回の利用に対して300円の助成となっているため、目的地が遠い程利用者負担が大きくなる。城島地域での1回の平均タクシー利用額は900円であることから、300円の助成がある場合でも600円は自費で支出することとなる。このため、本当に移動手段を持たない市民が利用したくても利用できない状況が生じている可能性がある。

4) アンケート結果より事業に対する利用者評価は高い

主な利用者は、運転免許を持たない75歳以上の女性であり、事業により外出機会が増えるなどの効果も確認され、事業に対する利用者評価は高いことが明らかとなった。ただし、その一方で利用者負担が高く利用できない方が少なからず存在していること、利用エリアの制限により利用に不便を感じていることなども明らかとなっており、利用者負担を低減する制度や、他交通機関との連携等について検討を行っていく必要がある。